

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 297

2019年5月 1日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

「3000万人署名」九条の会連絡会の集約は 35,645 筆

2019年4月12日現在 宮城県内9条の会連絡会

4月12日現在、35,645筆になりました。なお、九条の会以外の団体では181,884筆の到達であり、合計で217,529筆になっています。3000万筆めざしてがんばりましょう。

みやぎ憲法9条の会では着払いハガキ付きチラシを新しく3万枚作成しました。これまで、9条の会チラシの届いていない地域を中心に広く全戸配付しましょう。

すでに各九条の会にサンプルをお送りしておりますので、必要枚数の申請をみやぎ憲法九条の会事務局にしてください。

申請に合わせてお送りいたします。

ちゃんと手渡したい!
この子たちに、平和を

政治の役割ははたつかります
ひとつは、国民を飢えさせないこと、
安全な食べ物を食べさせること。
もうひとつは、これが最も大事です。
絶対に戦争をしないこと!

菅原文太

宮城県内九条の会連絡会
事務局 みやぎ憲法九条の会
Tel. 02-725-9819 E-mail: 999@99.jp

安倍首相の
憲法改憲案 本当なの?
何も変わらないって...

「自衛隊を憲法9条に書き込む」

自衛隊のこれまで
自衛のための最小限度の実力
これまで歴代政府は、自衛隊は日本が認められ
た時の最小限度の実力組織であって「軍隊」で
はないから、憲法9条に反しないと説明してき
ました。

憲法9条に書き込むと
他国の戦争に参加して武力行使する軍隊に
2015年に成立した安全保障
関連法(安保法)により、自
衛隊は日本が攻撃されていな
くても、他国とともについ
でもどこでも武力行使でき
ることになりました。
自衛隊の性格がこれまでと大きく変わり、「軍隊」
としての働きをするようになります。
つまり、9条が無効と同じことになるのです。

日本国憲法 第九条
日本国は、主権の存を国民に在らしめ、国権の
発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、
国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持
しない。国の交戦権は、これを認めない

郵便はがき
9 8 1 - 8 7 9 0

仙台市青葉区柏木一丁目四十五番
フオレスト仙台五階
みやぎ憲法九条の会
3000万署名係

仙台市青葉区
176
憲法発効期間
2020年1月20
日まで

変えよう! 安倍政治ストップ ! 改憲発議

6・9宮城県民大集会

守ろう!いのち 暮らし ふるさと そして、平和 私たちは呼びかけます。

戦後70年、日本の私たちは現行憲法のもと、民主的市民社会の形成をめざし、平和国家への道を歩んできました。しかし、私たちは今、戦前に引き戻されるかのようです。

安倍政権は2014年の集団的自衛権行使容認の閣議決定以来、堰をきったように「戦争できる国・する国」に向かってきました。2015年の安全保障関連法の制定により、自衛隊はこれまでの「攻められた時の最小限度の実力」から、「他国とともに武力行使することができる」とされました。憲法違反の立法です。

一昨年5月、安倍首相は、憲法9条に、この自衛隊を書き込むとする「9条改憲」を表明しました。

「戦力不保持」も「交戦権の否認」もなし崩しにするものです。

戦争国家への道は、私たちの命もくらしも脅かします。辺野古への土砂投入に反対する沖縄の人々の民意は一顧だにされません。

ウソとデタラメだらけ、問答無用、数の力で押し通す強権的な政治が行われています。

市民の力で、まっとうな政治を取り戻しましょう。

今ここにある危機に抗する力が、確かな時代を拓きます。

暴力の連鎖を断ち切り、分かち合い、励まし合う世界に向けて、ともに手をつなぎましょう。

呼びかけ人

相原研一(宮城県内九条の会連絡会運営委員長)・青木正芳(宮城革新懇代表)・浅野昭子(「女の平和」ピースアクションみやぎ世話人)・明日香壽川(東北大学教授)・安孫子麟(宮城憲法会議代表委員)・安達喜美子(朝市センター保育園園長)・阿部長壽(元みやぎ登米農協組合長)・石川雅之(パレスチナと仙台を結ぶ会代表)・板垣乙未生(東北大学名誉教授)・みやぎ憲法九条の会事務局長)・伊藤恵仁(戦争政策反対宮城県民連絡会事務局長)・稲垣達也(ピアニスト・作曲家)・大木れい子(婦人民主クラブ宮城県協議会議長)・岡村朋子(宮城のうたごえ協議会会長)・大関健一(元栗駒町長)・狩野猛夫(元松山町長)・刈田啓史郎(宮城県社会保障推進協議会会長)・鹿又喜治(宮城弁護士九条の会代表)・河相一成(東北大学名誉教授)・賀屋義郎(民主教育をすすめる宮城の会事務局長)・一斉焼却に反対する宮城県民連絡会共同代表)・川端英子(のぞみ文庫主宰)・草場裕之(弁護士)・栗田 彰(元大崎市議会議長)・小林悦子(退職女性教職員の会宮城白萩の会会長)・後藤東陽(写真家)・後藤不二夫(名取九条の会代表)・後藤彩子(みやぎ青年9条の会 KIRAKIRA☆9 事務局長)・斎藤信一(弁

変えよう! アベ政治 ストップ! 改憲発議
6.9宮城県民大集会
オープニングスタート 1240~
6/9 (土) 13:00~ 開演録行
仙台市錦町公園
アピール行進 14:00 スタート (仙部会館前まで)

オープニング ハーモニカ演奏
吉田ユージン & Bao Who Uoo
(西田有徳・角野順・石井k.介の娘さん)
曲: サマースマイル 編曲: 松田たかふま・高瀬川リバーサイドジャッフル 他

ゲストトーク
「辺野古」県民投票の会 代表
元山仁士郎さん
生年 1991年 生れ 宮野町出身
元ABAレナ特選
一橋大学大学院在学

特別発言
・ 国境九条の会
川野あーさん(元白石市市長)
鹿野文志さん(元鹿嶋市市長)
・ 女川原発の廃止をすすめる会
みんなの未来をまもる会
代表 多岐良 君さん

政党あいさつ
リレートーク
アピール行進

主催 「変えよう! アベ政治 ストップ! 改憲発議 6.9 宮城県民大集会」実行委員会
連絡先 事務局 電話 090-8206-3511 FAX 022-341-5882 Info.miyagi.undo@gmail.com

護士)・酒井孝夫(宮城県退職教職員協議会会長)・酒井文子(みやぎ親子読書をすすめる会代表)・佐藤郁子(宮城県母親大会連絡会会長)・篠原弘典(女川原発の再稼働を許さない!みやぎアクション世話人)・下郡山徹一(社会福祉法人つどいの家理事)・須藤道子(「テロにも戦争にもNOを!」の会世話人代表)・高橋正行(宮城県労連議長・宮城県高等学校障害児学校教職員組合執行委員長)・高橋道郎(NPO 東ティモール日本文化センター理事長)・高橋治(社会福祉法人ヴィーナス会会長)・多々良 哲(女川原発再稼働の是非をみんなで決める会代表)・出浦秀隆(宮城県高校退職教職員の会幹事長)・虎川太郎(宮城県生活と健康を守る会連合会)・中嶋信(徳島大学名誉教授)・中森孜郎(宮城教育大学名誉教授)・新里宏二(弁護士・ともに市政をつくる仙台市民の会代表)・西澤晴代(国際女性デー宮城県実行委員長)・橋本由美子(仙台の子どもと教育をともに考える市民の会代表運営委員)・樋口晟子(元東北福祉大学教授)・布田秀治(2.11集会事務局・日本キリスト教団いずみ愛泉教会牧師)・布間きみよ(全国一般宮城一般労働組合執行委員長)・本田永久子(子どもたちを放射能から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットみやぎ事務局長)・幕田和子(仙南九条の会連絡会事務局長)・松尾福子(まつお文庫主宰)・松浦健太郎(弁護士・若手弁護士九条の会事務局長)・松村行衛(元七ヶ宿町長)・松野豊(宮城県平和委員会)・三浦弘康(みやぎ農協人九条の会会長・元小牛田農協組合長)・三戸部 尚一(宮城県商工団体連合会会長)・宮沼弘明(宮城県民主医療機関連合会会長)・宮野賢一(全日本年金者組合宮城県本部委員長)・森久一(元山元町長)・山形孝夫(宮城学院女子大学名誉教授・みやぎ憲法九条の会共同代表)・吉田正志(宮城・研究者九条の会代表)・横内勲(憲法を守る市民委員会)・渡辺孝之(宮城県教職員組合執行委員長)

5月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

●仙台市の19日行動

5月19日(日) 青葉まつりのために今回は実施しません。。

●石巻市の19日行動

5月19日(日)15:00~16:00 場所:石巻工業高校前・蛇田交差点

●涌谷町の19日行動

5月20日(日)13:00~13:30 場所:涌谷公民館前交差点

(終了後、公民館で「憲法Café」を開催しますが、土日に当たる場合は第3月曜日)

●小牛田の19日行動（こごた九条の会）

5月19日（日）13：00～13：30 場所：国道108号山の神神社前交差点

●気仙沼市の19日行動

5月19日（日）11：00～ 場所：ホームマック前

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。4月30日はお休みします。5月は7日、14日、21日、28日

【これからの県内催事情報】

5・3憲法を活かす宮城県民集会（仙台市）

日時：5月3日（金・祝日）13：00～15：00（予定）

会場：仙台国際センター・大ホール

講師：石井 暁さん（共同通信社編集局編集委員）

「戦争法後の自衛隊の変質と安倍改憲の真の狙い」

主催：宮城憲法会議／憲法を守る市民委員会／宮城県護憲平和センター／

みやぎ九条懇話会／連絡先：電話 022-222-9181

（集会終了後、会場 → 青葉通 → 一番町 → 市役所前・市民の広場までアピール行進）

憲法記念日講演会（大崎市）

「日本国憲法と公務員の役割」

—「全体の奉仕者」としての公務員のあり方を考える—

日時：5月3日（金・祝日）14：00～16：00

会場：吉野作造記念館／参加費310円（記念館常設展示観覧可）

講師：晴山 一穂氏（専修大学名誉教授・福島大学名誉教授）

主催：吉野作造記念館（電話 0229-23-7100）

戦争を語り継ぐ上映会（5月）

「父と暮らせば」

原爆投下から3年後の広島を舞台に、生き残ったことへの負い目に苦しみながら生きている娘と、そんな彼女の前に幽霊となって現れた父。娘の恋を成就させるために、あの手この手を使って娘の心を開かせようとするのだが、娘は頑なにこばみ続けるのだった。やがて、自分の分まで生きて、広島であったことを後世に伝えて欲しいという父の思いを知ったことで……。

原作：井上ひさし、監督：黒木和雄、出演：宮沢りえ、原田芳雄ほか。（2004年製作、99分）

日時：5月16日（木）13：00～15：00 無料

会場：泉病院友の会ホール（泉区長命が丘2丁目1-1）

主催：泉病院友の会 平和の委員会

連絡先：泉病院友の会 378-3883

宮城女性九条の会 総会&講演会

表現の自由を守る！ 平和を守る！／さいたま市九条俳句裁判勝訴から学ぶ

日時：5月18日（土）13：30～15：30（総会は講演終了後15：40～）

会場：仙台市活動サポートセンター6Fセミナーホール／参加費500円

講師：弁護士・石川 智士氏（埼玉中央法律事務所・九条俳句訴訟弁護団）

主催：宮城女性九条の会（連絡先：090-5832-6836）

仙台合唱団 第12回演奏会

「愛・平和・いのち歌い続けて22年」

日時：5月26日（日）13：30～（13：00開場）

会場：仙台市太白区文化せんたー・楽楽楽ホール

入場料：一般1000円、障がい者500円、中学生以下無料

問合せ：仙台合唱団事務局 070-6493-5976

～伝えたい・この思い「戦争のこと」「平和のこと」～

おじいちゃんから孫たちへ

戦争のもたらす惨禍を知らず、またわざと見ない振りをする人達が政治をリードするようになって、またもや戦争の淵に引きずり込まれそうです。大日本帝国最後の兵士だったみやぎ憲法九条の会顧問の後藤さんが、子や孫たちに戦争のない安全な国を残すために、この前の戦争の時に見聞きしたこと、「戦争だけはしてはいけない。」この思いを歌と映像とお話でお届けします。

日時：5月26日（日）13：30～14：30 懇談14：30～15：00

会場：鶴ヶ谷市民センター（仙台市宮城野区鶴ヶ谷2丁目）

お話：後藤東陽さん(写真家・当会共同代表・1925年生)

*入場無料、中学生・高校生歓迎

主催：鶴ヶ谷地域九条の会 連絡先：事務局 篠原富雄(090-8780-8091)

【九条の会等の活動報告】

みやぎ憲法九条の会総会でアピール

4月20日(土)午後1時よりフォレスト仙台2階の第10会議室において呼びかけ人総会を開催し、2018年度の活動のまとめと2019年度の活動方針を確認しました。総会は27人と参加者が例年より少なかったのですが、今田隆一世話人より「社会保障と9条」という演題でお話を頂きました。今田世話人が日常携わっている医療の現場からみた社会保障のと戦争経済の実態についてお話し



ただきました。戦争を経済から見る、自殺者とお金、自己責任などこれまで、憲法九条を語るお話では余り無い視点で興味深かった。

フォレストビル5階では同時進行で農協人9条の会の総会も開催され、東北大学農学部教授の冬木勝仁さんが「農業の現状と課題」と題してTPP、日米経済交渉の行方と農業を巡る情勢についてお話されました。総会終了後、同じフォレストビル5階で同時開催された「農協人9条の会」の皆さんと合同の懇親会を行いました。39人の方が参加、和やかな中にも仙台の街部に住む市民と農村部に住む農民とが互いに違う生活環境ながら、「平和があってこそ、毎日の暮らし・農業が営まれる」との思いを交換しました。



みやぎ憲法9条の会総会では下記のアピールを決議し、県選出国會議員、首相、官房長官、防衛大臣に4月26日に送りました。

「『みやぎ憲法九条の会』第15回 呼びかけ人総会」アピール

安倍晋三政権の下で、9条に自衛隊を書き込むなどの憲法改悪の策動が執拗に進められる中、1947年の日本国憲法施行から、間もなく72年の憲法記念日を迎えようとしています。解釈改憲に加えて、明文改憲に乗り出した安倍政権の憲法破壊の政治と、憲法を守り生かす国民とのせめぎあいは、日に日に激しくなっています。

日本とアジアに多大な被害をもたらした侵略戦争への反省を踏まえて制定された憲法を守り生かし、二度と「戦争する国」にはならない決意を新たに、3000万人署名をやりとげ安倍政権の改憲を断念させる闘いはますます重要になっています。

安倍首相は、自民党改憲案を国会に提示、憲法審査会での議論と発議を狙い、2017年5月に「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と公言、たびたび「今もその気持ちに変わりはありません」と明言してきました。

自民党の改憲案である憲法9条に自衛隊を書き込めば、9条1項、2項の戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認の規定が空文化・死文化し、自衛隊が文字通り大手を振って、海外での戦争に参加することになります。首相は改憲を「新たな国づくり」だといいますが、それは文字通り「戦争する国づくり」です。

そして、自民党改憲推進本部長や衆議院憲法審査会会長をタカ派の改憲推進議員に入れ替え、『改憲シフト』を敷いてきました。2月に開いた自民党大会では、「改憲に道筋をつ

ける覚悟」と強調し、改憲強行のためにすべての小選挙区支部に改憲推進本部をつくり、「草の根」からの運動を強化することを決定しています。

一方では、改憲勢力は「九条の会」に攻撃をかけてきています。昨年末の自民党改憲推進本部の会合では「九条の会」をはじめとする改憲反対派を「敵」と位置け攻撃するなど、なりふり構わぬ姿勢です。3月19日の衆院総務委員会では、「九条の会」について政治資金規制法に基づく届け出をしていないなどとして「違法団体」と決め付けて攻撃しました。

また、安倍首相は、自衛官募集に関し、6割以上の自治体が「協力を拒否している」などと発言。適齢者名簿を閲覧させても提出していない自治体を「非協力」とみなし、自治体への攻撃まで行っています。

いま、北東アジアの状況は大きく変わりつつあります。昨年6月にひきつづき、この2月に2回目の米朝首脳会談が行われ、厳しい局面も予想されますが、朝鮮半島の非核化に踏み出しています。こうした時に、「戦争する国づくり」をすすめる安倍政権の政策は、世界の流れに逆らうものであります。

今年参議院選挙が行われます。改憲勢力に3分の2の議席を占めさせないことが、憲法改正の国会発議を止めることとなります。

こうした中で、「みやぎ憲法九条の会」は15回目の総会を開催しました。全国各地につくられている7500を超える「九条の会」と連帯して様々な運動を展開してきた成果は、自民党が狙う改憲を阻止してきました。

これまでの様々な取り組みの中で、多くの良識ある人々と手をつなぎ培ってきた広がりをもう一回り広げ安倍政権の狙う憲法破壊を阻止するために頑張りましょう。

2019年4月20日

みやぎ憲法九条の会第15回呼びかけ人総会

九条の会東北交流会には 112 人参加

於：福島市「AOZ MAXふくしま」

4月23日(火)に福島市の「AOZ MAXふくしま」において東北各県の九条の会が毎年開催している交流会が開催され、各県より112人が参加し、交流しました。

講師として九条の会事務局より小森陽一さんが参加「安倍9条改憲を阻止し、政権打倒の運動へ」と題して講演、安倍改憲を阻止するための市民と野党の共闘を作り上げる重要性を強調、とくにカギとなる

「3000万人署名」達成に向けて活動を進めることの意義について強調しました。

講演を受けて各県の活動交流を行い、宮城県からは仙台市若林区の「南小泉・蒲町校区九条の会」の松尾さんが活動報告を行いました。

東北交流会の前日22日より同所で東北6県市長村長九条の会連合の総会が開催され、5月18日東京において全国の首長に呼びかけ全国交流会の開催することを確認しました。全国首長交流会は2008年に結成された宮城県「憲法9条を守る首長の会」、2014年に「東北6県市長村長九条の会連合」の結成に引き続き、昨年同連合の総会で首長の会全国化をめざして活動することを決めた、呼びかけた流れの中で開催されることになったものです。

